

令和4年度 事業計画書

社会福祉法人 楽水会

1、基本理念と運営方針

基本理念

「今日を楽しく、その人らしく」

利用者の皆様が一日一日を楽しく過ごし、ご家族・地域の皆様にも信頼される、笑顔あふれる施設づくりに努めます。

施設運営の基本方針

- 私たちは、利用者の人格を尊重し、一人一人のニーズやこれまでの生活を大事にするユニットケアの理念を念頭に、利用者・職員が一つの家族として支えあう介護を目指します。
- 私たちは、各ユニットで利用者が、家庭的な雰囲気の中で、安心して生活できるようチームケアに努めます。
- 私たちは、地域の皆様との交流を通じ、地域に愛され、信頼される施設を目指します。
- 私たちは、より良いサービスの提供のため、職員研修を通じ、今後も介護・看護の技術向上に努めます。

2、運営事業と役員等

(1) 指定事業

事業の種類	事業所名称	定員	開設年月日
介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム アミーガはまゆり	90名	平成15年7月1日
短期入所生活介護	アミーガはまゆり指定短期入所生活介護事業所	10名	平成15年7月1日
介護予防短期入所生活介護			平成18年4月1日
通所介護	アミーガはまゆりデイサービスセンター	25名	平成15年7月1日
介護予防通所介護			平成18年4月1日

(2) 役員等（令和4年3月1日現在）

【評議員】

小笠原栄治、佐々木伸一、細川恵喜、清原士朗、千葉清則、菊池郁夫、久保喜雅

【理事・監事】

理事：神林敦彦、丸木久忠、佐々木喜一、有井洋成、久保奈穂、久喜 眞

監事：松田宇善、小笠原秀一

【評議員選任・解任委員】

監事：松田宇善、小笠原秀一

外部：斎藤敦子、唐沢一江、千葉 敬

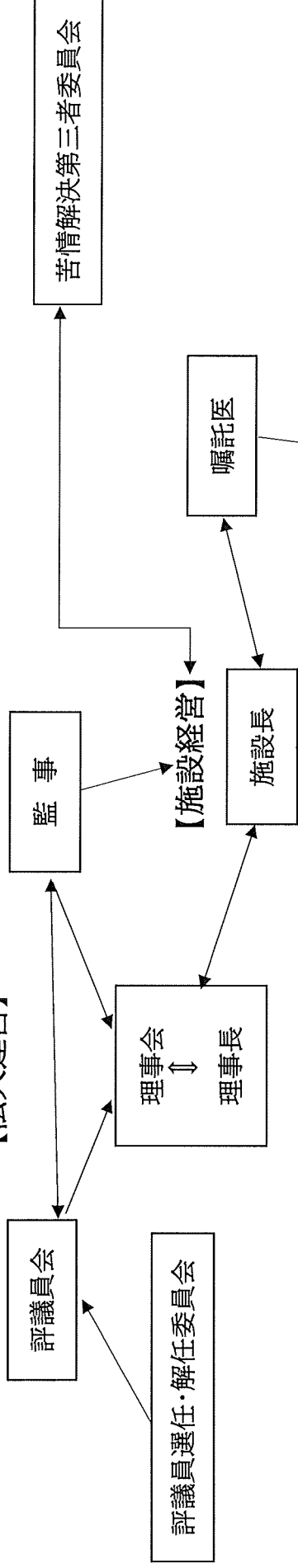
職員：高橋ひろみ、及川隆行

【苦情解決第三者委員】

松田宇善（監事）、小笠原秀一（監事）

3 運営組織

【法人運営】



特別養護老人ホーム アミーガはまゆり 長期90床、短期10床 全室個室			
	生活介護課	介護サービス課	看護課
総務課	課長 主任生活相談員 生活相談員(長期・短期) 介護支援専門員(2人) 管理栄養士(2人) 調理(委託)	課長 課長補佐 ユニットマネージャー(5人) ユニットリーダー(10人) ユニットサブリーダー(複数名) 介護員	課長 主任 副主任 機能訓練指導員
課長 事務員 運転手兼営繕員 清掃員 洗濯員 宿直員(委託)			
			アミーガはまゆり デイサービスセンター 定員:25名 管理者(施設長) マネジャー 生活相談員 リーダー サブリーダー 介護員 看護師 機能訓練指導員

4. 会議構成

「委員会」

委員会名称	会議内容	記録者	参加対象職員	開催予定
運営委員会	施設運営方針の検討・経営状況確認等	介護サービス課長	理事長、施設長 生活介護課長 介護サービス課長 看護課長	第3木曜日
安全管理委員会	安全管理体制の検討、職員の危険防止・健康障害防止・メンタルヘルルス対策・腰痛予防対策等、職員の健康増進			
防災委員会	災害対応の検討、防災訓練の実施等	看護課長	介護サービス課課長補佐 主任生活相談員 介護支援専門員 各マネジャー 管理栄養士 機能訓練指導員	第3木曜日
口腔内のたんの吸引等安全管理委員会	たん吸引・経管栄養等に関する対応の検討			
褥瘡対策委員会	褥瘡発生対応と予防策の検討等			
感染症対策委員会	感染症・食中毒発生時における対応の検討			
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束に関する検討	主任生活相談員		
入退去検討会議	入退去者の検討等			

「マネジャー会議」

会議名称	会議内容	記録者	参加対象職員	開催予定
業務検討会議	業務改善、ユニットケア全般に関する検討	介護サービス課長	施設長、生活介護課長	第2木曜日
介護事故防止検討会議	介護事故事例研究、KY予測訓練等の検討	ユニットマネジャー	介護サービス課長	
ケアプラン会議(24Hシート)	ケアプラン、24Hシート等に関する検討	介護支援専門員	看護課長	
栄養・口腔ケア会議	栄養管理指導、食事等に関する検討 口腔ケアに関する検討	管理栄養士	介護サービス課課長補佐	
研修・マニュアル会議	各種研修会の企画立案と実施 介護業務マニュアルの整備に関する検討	ユニットマネジャー	主任生活相談員	
広報・行事会議	広報誌の発行、ホームページの作成・更新管理 観桜会・夏祭り・敬老会等の企画立案・実施	デイマネジャー	介護支援専門員 各マネジャー 管理栄養士 機能訓練指導員	

「デイ支援会議」

会議名称	会議内容	記録者	参加対象職員	開催予定
デイ支援会議	デイサービスセンターの運営に関する検討 生活支援ハウスの活用に関する検討	デイ生活相談員	施設長・生活介護課長・介護サービス課長・ デイマネジャー・生活相談員	第1木曜日

5、経営基盤の確立等

- 各事業毎の目標値を次のとおりとする。

目標値	特養長期	88.0人/日	稼働率	98%
	ショート	9.0人/日	稼働率	90%
	通所	18.0人/日	稼働率	72%

※長期の空室発生期間は、2週間を目途とする。

- 職員の処遇改善、各加算項目の取得、業務改善の継続、各種経費の削減等に努めながら、中長期的視点に立った健全経営を継続する。

6、情報公開等

- 経営の透明性の確保、財務規律の明確化等を図るとともに、各関係機関と連携し、ホームページ等による介護サービス情報の公表や各種情報の公開を継続する。

7、人材確保と育成、働きやすい職場づくり、設備等の改修

- 高校・専門学校・大学新卒者の採用継続と介護経験の有無に関わらない中途採用も行う。
- 人材確保のため各関係機関の就職相談会・企業見学会等への参加を継続する。
- キャリアパスや研修教育体系等に基づき、内部・外部研修への職員派遣、他施設職員等の研修受入れ、交流研修等も進めながら職員の資質向上に努めるとともに、資格取得支援も継続する。
- 職員の健康管理、マタハラ・セクハラ・パワハラ防止、各種の事故防止、男性職員の育児休暇取得の推進等、働きやすい職場環境づくりを継続する。
- 屋根や外壁の補修及び防水塗装等の施工の他、各施設・設備等の改修及び更新を優先度・緊急度を見ながら順次進める。

8、地域貢献等

- 地域交流スペース・会議室等を地域や行政等のコミュニティースペースとして活用する。
- 児童・生徒・学生・社会人・他法人職員等の体験学習や研修の受入れを継続する。
- 地域の学校等への出前講座や zoom 等を活用した見学も継続する。
- 子供たちの遊びや学びの場の提供と居場所づくりに努める。
- 市民の福祉向上の一助として地域や行政、関係団体との連携を継続する。
- 地域貢献の一環として、施設の地域交流スペース・会議室・ICT環境等を活用し沿岸地域の介護関係職員の資質向上等に資する研修等を継続する。

9、災害・感染症対応等

- 実効性のある避難訓練・感染症発生時の対応訓練等を企画・実行する。
- 県内各施設との災害時応援協定の活用や市の福祉避難所指定に伴う各関係機関との連携を継続する。
- 新型コロナウイルス感染症発生時の職員宿泊場所として生活支援ハウスの空き部屋を活用する他、各種の感染症対策にも継続して取り組む。

10. 教育研修体系

	新任・初級研修	中級研修	上級研修	主任者・管理者研修
目的	社会福祉従事者としての基礎知識と技術の習得及び啓発意欲の付与	担当業務の実務能力・応用能力の向上及び積極性・協調性の涵養	主体的リーダーの養成及び問題点の把握と解決能力によるマネジメント	戦略的な経営計画の企画・立案・推進と問題解決能力、人材育成など幅広い能力の習得
対応役職	<p>【共通】 ○自己理念の構築＝施設理念の共感的理解 ～理念に基づき実行力から社会を創造し続ける～</p> <p>○新任～経験3年以内の職員</p>	<p>○リーダー（副主任）</p> <p>○サブリーダー</p> <p>○経験3年以上の職員</p>	<p>○課長補佐</p> <p>○マネジャー（主任）</p> <p>○中級以上の職員</p>	<p>○施設長</p> <p>○事務長</p> <p>○課長</p>
施設内研修	<p>○新任・初級研修</p> <p>○介護技術基礎研修</p> <p>○現場実務研修</p>	<p>○ユニットリーダー・副主任研修</p> <p>○介護福祉士取得対策セミナー</p> <p>○新任職員指導者研修</p>	<p>○ユニットマネジャー・主任研修</p> <p>○職員の育成方策</p> <p>○ユニットマネジメント戦略</p>	<p>○法人理念と施設経営</p> <p>○サービスの自己評価・第三者評価</p> <p>○サービス情報の公表制度</p> <p>○ストレスマネジメント</p>
施設外研修	<p>【共通】 ○福祉関係法の理念・動向の理解 ○（社福）薬水会の理念と経営方針・事業運営方針 ○労働関係法と法人の諸規定 ○地域社会貢献事業</p> <p>○職業倫理・法令順守 ○個人情報保護 ○利用者家族の理解 ○サービス向上に関する研修（介護技術、認知症ケア、ケアプラン、食中毒・感染症予防、看取りケア、栄養ケア、身体拘束廃止、リスクマネジメント、緊急時対応等）</p>	<p>○ユニットリーダー研修</p> <p>○福祉職員生涯研修（中堅職員課程）</p> <p>○認知症介護実践者研修</p> <p>○リスクマネジメント研修（中級）</p>	<p>○ユニットリーダー研修</p> <p>○社会福祉従事者専門研修</p> <p>○認知症介護実践リーダー研修</p> <p>○先進施設等における実務研修</p> <p>○リスクマネジメント研修（上級）</p>	<p>○ユニットケア管理者研修</p> <p>○介護保険関係セミナー</p> <p>○福祉人材育成セミナー</p> <p>○会計・事務管理セミナー</p> <p>○労働法関係管理セミナー</p>
資格取得・自己啓発	<p>【共通】 ○沿岸ブロック高齢協職員研修 ○介護予防研修 ○感染症予防対策研修 ○介護福祉士会研修 ○リハビリネットワーク会議関係職員研修</p> <p>○介護支援専門員研修 ○介護事業者支援セミナー ○福祉サービス苦情解決セミナー ○他施設職種交換研修 ○先進地施設等の視察研修</p> <p>○メンタルヘルスケア研修 ○障がい者虐待防止・権利擁護研修 ○地域貢献研修</p>	<p>○介護福祉士 ○社会福祉主事</p> <p>○准看護師 ○栄養士</p>	<p>○社会福祉士 ○介護支援専門員</p> <p>○正看護師 ○管理栄養士</p>	<p>○防火管理者 ○衛生管理者</p> <p>○安全運転管理者</p>
	<p>【共通】 ○自己の社会性・専門性向上のための研修等</p>			

令和4年度行事・事業計画

施設行事	給食	ボランティア ・慰問活動等	体験学習・ 施設見学等	地域貢献	防災・感染症対応関係
<p>4月の観桜会・7月の夏祭り・9月の敬老会等各施設行事は入居者と職員で行うこととする。実施の有無は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を判断する。実施の有無は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を判断する。</p>	<p>毎月の喫茶・おやつバキング・行事食等は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を判断する。実施の有無は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を判断する。</p>	<p>4月から9月までの前半は、受入停止を継続する。10月以降の後半は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を判断する。実施の有無は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を判断する。</p>	<p>当分の間、受入停止を継続するが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を判断する。実施の有無は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を判断する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・沿岸地域等職員研修 喀痰吸引研修 医療的ケア実務者研修 リーダー研修 ・学校への出前授業 適宜、対応 ・子供や若者の居場所づくり 適宜、対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害（水害・地震等）への対策 ・火災確知、初期消火、通報避難誘導等訓練①～④ ・春季及び秋季消防訓練 協力団体：町内会、楽山会等 ・災害対応に係る他施設視察 研修 ①～② ・放水訓練①～② ・浸水時避難訓練 1階入居者を2階へ移動等 ・停電時対応訓練 発電機作動 エレベーター停止対応等 ・消防計画等の整理 ・感染症陽性患者発生時の対応訓練